

安里屋ユンタ ver1.1

本調子

中 工 七 合 四 七 合 七 七 五 工 四 上

中 工 合 工 合 五 工 四 合 四 上 合 上

中 上 合 工 合 乙 四 中 王 上 老 四 工

四 サ ー キ 合 四 上 合 中 ミ ハ ノ ナ カ ノ イ バ

上 ラ ノ ハ 工 合 工 ナ 五 工 カ 合 工 サ ー ユ イ

五 ユ イ ク 合 工 レ テ カ エ レ バ ヤ レ

中 ホ ニ ヒ キ ト メ ル マ タ ハ 合 四 上 合 上

中 リ ヌ チ ン ダ ラ カ ヌ シ ャ マ ヨ 中 王 上 老 四

一、サー君は野中のいばらの花か
サーユイユイ

暮れて帰ればやれほにひきとめる
マタハ一リヌチンラダカヌシヤマヨ

三、サー田草取るなら十六夜月よ
サーユイユイ

二人で気がねにやれほに水入らず
マタハ一リヌチンラダカヌシヤマヨ

五、サー沖縄よいとこ一度はめんそうれ
サーユイユイ

春夏秋冬緑の島よ
マタハ一リヌチンラダカヌシヤマヨ

二、サー嬉し恥ずかし浮名を立てて
サーユイユイ

主は白百合やれほにままならぬ
マタハ一リヌチンラダカヌシヤマヨ

四、サー染めて上げましよ紺地の小袖
サーユイユイ

掛けておくれよ情けのたすき
マタハ一リヌチンラダカヌシヤマヨ